

第39回 全中労定期大会



茨木全中労議長
国際労働組合
中央執行委員長



柳田全中労北海道議長
室蘭金星自動車労働組合
執行委員長



安達全中労東海議長
東和交通労働組合
執行委員長



小島全中労東京議長
西武ハイヤー労働組合
執行委員長

全中労（全国中立労組政策推進会議）は、2015年11月24日（火）、日暮里・ホテルラングウッドにおいて、北海道、名古屋、埼玉、東京より約70名の出席で第39回定期大会を開催しました。

冒頭、茨木議長より挨拶があり、各地域議長（柳田 北海道議長、安達 東海議長、小島 東京議長）の挨拶と続き、北里事務局長（国際労働組合）より2015年度活動報告が行われた後、2015年度会計報告・同会計監査報告が承認されました。続いて2016年度の運動方針（案）・予算（案）が提案され全会一致で可決されました。その後、2016年度の役員選出、河合氏（東和交通労働組合）による大会宣言を採択した後、新たに副議長に就任した後藤氏（北海道中央タクシー労働組合）の音頭による力強い突き上げが行われ、大会は成功裡に終了しました。

全中労は、安心・安全を提供する真の利用者利便の向上を目指し、ハイタク・バス産業に働く労働者が将来に希望の持てる産業であるために必要な政策・制度を提言すると同時に、社会に受け入れられる活動を展開していきます。

政策・制度要求課題

1. 公共交通輸送機関としてふさわしい公的助成措置の確立
2. 道路交通法・道路運送法・その他交通・労働行政諸法規の徹底と指導
3. ハイ・タク産業の秩序を乱す白タクの排除と、NPO（特定非営利活動法人）の有償輸送の不法営業取締り
4. 大都市圏における渋滞緩和措置の推進
5. 営業車両の車検については初年度3年間、以降1年毎に設定
6. 安全対策と交通環境改善対策

交通機関の一員としてハイ・タク・バスに課せられた安全輸送の責務は、我々の労働条件はもとより道路交通の整備と密接な関係を持っている。安全輸送対策として次の具体的内容を各方面に要求する。

- ① 道路の拡張と整備及び交通標識の改善
- ② 交通環境に見合った合理的な速度制限
- ③ 利用者の安全と利便、走行効率の面からタクシー乗り場の適切な設置と充実
- ④ 公共輸送機関であるタクシー乗車時におけるバスレーンの併用使用
- ⑤ タクシー乗務員の休憩所、食堂、トイレの設置拡充
- ⑥ 観光バスの観光地における駐車場の設置拡充
- ⑦ 観光バス利用客のための高速道路サービスエリアにおける路線バス停留所設置拡充

7. 自動車税の減免措置の確立
8. 市場の変化や需給調整に伴うハイ・タク産業の遊休資産の有効活用



2016年新役員

役職名	氏名	出身単組名・役職名
議長	茨木 不尽彦	国際労働組合中央執行委員長
副議長	小島 靖雄	全中労東京・東京ハイタク観光バス労組協議会議長 西武ハイヤー労働組合執行委員長
副議長	安達 育郎	全中労東海・東海中立労組協議会議長 東和交通労働組合執行委員長
副議長	後藤 寿亜樹	全中労北海道・全金星自動車労働組合連合会議長 北海道中央タクシー労働組合執行委員長
事務局長	北里 裕治	国際労働組合中央書記長
幹事	井上 剛	北見金星自動車労働組合執行委員長
幹事	西川 和也	名古屋近鉄タクシー労働組合副執行委員長
幹事	吉田 克美	都タクシー親睦会従業員代表
幹事	平瀬 昇	中央交通労働組合執行委員長
幹事	中山 弥寿	西武ハイヤー労働組合副執行委員長
幹事	行木 幸男	西武ハイヤー労働組合書記長
幹事	佐相 幸男	国際労働組合中央副執行委員長
会計	田北 章	国際労働組合中央常任執行委員
会計監査	鈴木 忠義	西武ハイヤー労働組合執行委員
会計監査	石田 欽久	国際労働組合中央常任執行委員



後藤新副議長による力強い“突き上げ”